



新潟山形南部連絡道路建設促進期成同盟会住民大会 安心安全な道路の早期建設を願って

10月25日、新潟山形南部連絡道路建設促進期成同盟会住民大会が飯豊町で開催されました。

大会では、最近の道路行政をテーマとした基調講演や意見発表などが行われ、この中で、道路と教育の視点から意見発表をした叶水小中学校の高野佳樹教頭は「今年の高校入試の日、国道で事故が発生し通行止めとなり、受験ができない生徒が出るなど、とても胸を痛めた。災害に強く、子どもたちが安心して学べる地域のためにも、新潟山形南部連絡道路の早期整備を願っている」と思いを話しました。



▲叶水小中学校高野佳樹教頭による意見発表



▲大人も子どもも仮装をして楽しむ

伊佐領ハロウィン開催！ みんなで作り上げるハロウィン！

11月2日に、伊佐領地区住民により企画された伊佐領ハロウィンが開催され、地区のかたや小国高校生、地域おこし協力隊員など多くのかたが参加しました。

当日はあいにくの雨などもあり、室内でおばけなどの仮装を行ったほか、参加者たちで装飾の工作をしたり、話をしたりしながら交流を深めました。

その後、全員で作り上げた「がんばれ！！よねせかせん！！」と書かれた米坂線復旧に向けた横断幕を掲げ、早期復旧を祈りました。

令和7年度白い森芸術祭芸能まつり 芸術の秋、思い思いに歌い踊る

小国町文化協会が主催する、令和7年度白い森芸術祭「芸能まつり」が11月3日、小国小学校体育館で行われ、町内の15芸能団体が歌謡やダンス、吹奏楽などさまざまな演目を披露しました。会場に集まった約250人の観客からは、ステージに向けて声援や拍手が送られ、大きな盛り上がりを見せていました。歌謡を聴いた観客のかたは「同じ世代のかたが歌っている姿を見て、元気をもらえた」と話していました。





おぐにの子どもの日まつり 探して、読んで、見て楽しむ

やまがた教育の日となっている11月第二土曜日の11月8日に、「おぐにの子どもの日まつり」が、おぐに開発総合センターで開催されました。

当日は、幼児と小学生と保護者18人が参加し、だがしや楽校での輪投げやバルーンアート、絵本の読み聞かせや人形劇などで楽しみました。また、「ワラビーマンたちを探そう」と題し、会場に隠されたワラビーマンたちのカードを探すゲームでは、子どもたちが階段の隅やポスターの裏などを探しながら、元気に動き回っていました。



カーブミラー贈呈式 事故のない小国を目指して

11月19日、カーブミラー贈呈式が行われ、山形おきたま農業協同組合（若林英毅代表理事組合長）と全国共済農業協同組合連合会山形県本部（折原敬一運営委員会会長）より町にカーブミラーが寄贈されました。

両団体では昭和48年から地域の交通安全と交通事故防止を目的にカーブミラーを寄贈しており、本町にはこれまで194基を寄贈いただいています。今回、寄贈いただいたカーブミラーは今後、町内の見通しの悪い道路に設置することとしています。

～秋の叙勲 金和彦さんが瑞宝単光章を受章～

元小国町消防団の金和彦さん（小渡）が瑞宝単光章を受章されました。金さんは昭和58年に小国町消防団団員を拝命以来、部長、分団長の職を歴任され、火災現場では、幹部団員として率先した行動により延焼防止に務め、団員の士気向上に努めるなど、火災現場での活動で大きく貢献されました。また、日頃の消防団活動における団員の育成や火災予防など、幅広い面から町内消防活動に力を尽くされました。

